

北広島市観光基本計画

にぎわいと魅力あるまち 北広島

【改訂版】



平成31年3月

北 広 島 市



にぎわいと魅力あるまち の創出に向けて

北広島市長 上野正三

我が国における少子高齢化の進行や人口減少時代の到来、経済構造の変化など、近年の社会経済情勢は急激に変化しており、地域社会や市民生活にさまざまな影響を及ぼしております。

本市におきましては、北広島市総合計画（第5次）において重点的、戦略的に取り組むべき施策としている「にぎわい・魅力づくりプロジェクト」の実現のため、2014年（平成26年）4月に市民や観光関連事業者等と目標を共有しながら、2020年を目標年次として観光まちづくりを推進する「観光基本計画」を策定しました。

こうした状況の中、本市では2018年（平成30年）10月31日に、きたひろしま総合運動公園予定地が北海道日本ハムファイターズのボールパーク建設地として決定しました。ボールパークの核となる新球場の開業は、2023年を予定しておりますが、このたび、本計画の見直しを行うことにより、ボールパークの開業を見据えた観光まちづくりを推進してまいります。

終わりに、この計画の見直しに当たって、熱心なご検討をいただきました「北広島市観光基本計画懇話会」の皆様をはじめ、観光施策について貴重なご意見をいただいた市民の皆様に、心からお礼申し上げます。

目 次

第1章 計画策定の趣旨	3
第1節 基本計画の目的と位置付け	3
1 計画の目的	3
2 観光振興の果たす役割	3
3 計画の位置付け	5
4 計画の期間	5
第2節 観光の全国的な動向	6
1 全国の観光の状況	6
2 北海道の観光の状況	9
第3節 北広島市の観光の現状と課題	11
1 北広島市の観光の現状	11
2 北広島市の観光振興の課題	14
第2章 基本理念	16
第3章 基本方針と基本施策	17
第1節 基本方針	17
第2節 施策の体系	19
第3節 基本施策	20
第4章 重点プロジェクト	27
第5章 推進の体制	30
参考資料	32
1 策定の経過	
2 計画策定戦略委員会 委員名簿	
3 見直しの経過	
4 観光基本計画懇話会 構成員名簿	

第1章 計画策定の趣旨

第1節 基本計画の目的と位置付け

1 計画の目的

本市の人口は緩やかな減少傾向にあり、今後、地域社会や市民生活に少なからず影響を与えることが予想されます。しかし、本市は自然環境や交通の利便性に恵まれ、道都札幌市に隣接しているなど、地理的条件は最適であり、かつ地域に根ざした文化や歴史を含め様々な地域資源を擁しています。

観光を通じた交流人口の拡大は、将来的には定住人口の増加にもつながる可能性を秘めており、このことから、本市の地域資源を活用した新たな観光振興施策を確立すること、さらに、まちの魅力を内外に効果的にアピールすることが極めて重要であると考えます。

これまでの観光は、テーマパーク、美術館・博物館などの大型観光施設の「見物」や昔ながらの温泉観光といった「保養」等を中心とした「見物・保養型」の観光が主流でした。しかし、近年は「ふれる」「いやす」「まなぶ」を求める「体験型」の観光ニーズが高まりつつあります。そこで、都市部における観光のあり方として、本市の個性や魅力を発揮しながら、交流・集客を促進し、地域資源や集客施設なども活かした「都市型観光」を推進する必要があります。

本計画は「にぎわいと魅力あるまち北広島」をめざし、観光人口の現状や傾向の把握、観光資源の掘り起こしをするとともに、観光が有する多面的機能を活用した新たな観光施策を展開することで、さまざまな効果を生みだし、地域の活性化に結びつけることを目的に「都市型観光」に向けた基本計画として策定するものです。

2 観光振興の果たす役割

多くの観光客が本市を訪れることにより、市内においては様々な効果をもたらしますが、観光振興はこうした効果を本市の経済の活性化や地域振興に有機的に結びつけていくという重要な役割を担っています。

市内において観光客の行動によってもたらされる効果は、大きく「社会的効果」と「経済的効果」に分けられます。

「社会的効果」とは、観光客と市民との交流の活発化や北広島に魅力を感じる観光客の定住促進等により、生活文化の向上が図られることであり、ひいては観光を通じて全国的に知名度が高まり、都市イメージの向上につながる

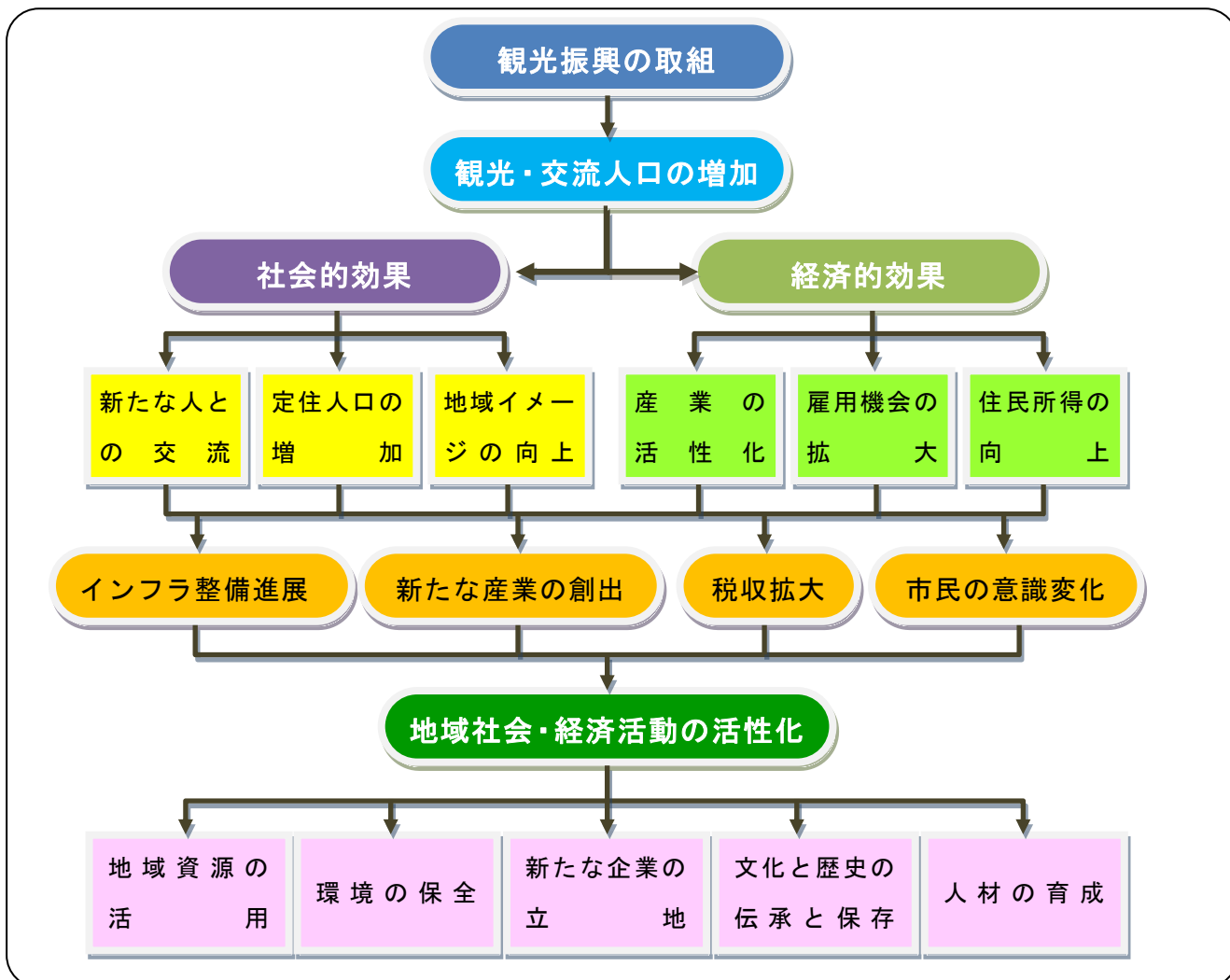
ることにもなります。

「経済的効果」とは、観光客の消費支出の増大により既存産業の活力が拡充し、産業の活性化が進み、これに伴い市内における雇用の拡大が図られ、市民所得が増加することが想定されます。観光振興の取組により、このような経済面での波及効果が全市に浸透し、より幅広い産業分野にわたって拡大することが期待されています。

さらにこれらが相乗的な効果を生みだし、社会基盤の整備をはじめとした活力ある地域社会の実現に結びつくことが観光振興の果たす役割として期待されています。

また、本市の経済の活性化や地域振興を推進する切り口としては、北広島市とその周辺地域における「資源の活用」「環境の保全」「新たな企業の立地」「文化と歴史の伝承と保存」「人材の育成」等が挙げられます。

これらの達成に当たっては、市だけでなく「まちづくり」を担う市民の活動も重要になってきます。



3 計画の位置付け

本計画は、上位計画である「北広島市総合計画（第5次）」の重点プロジェクトの「にぎわい・魅力づくりプロジェクト」や政策の「観光の振興」を推進するための基本計画として位置づけ、計画に定める施策を実践することにより行政だけでなく観光関連事業者や市民と目標を共有し、力を合わせることでまちづくりを観光の視点から推進していくことをめざします。

4 計画の期間

本計画は、2022年度までの計画期間とします。ただし、社会情勢の変化により、必要に応じて見直しを行うこととします。

第2節 観光の全国的な動向

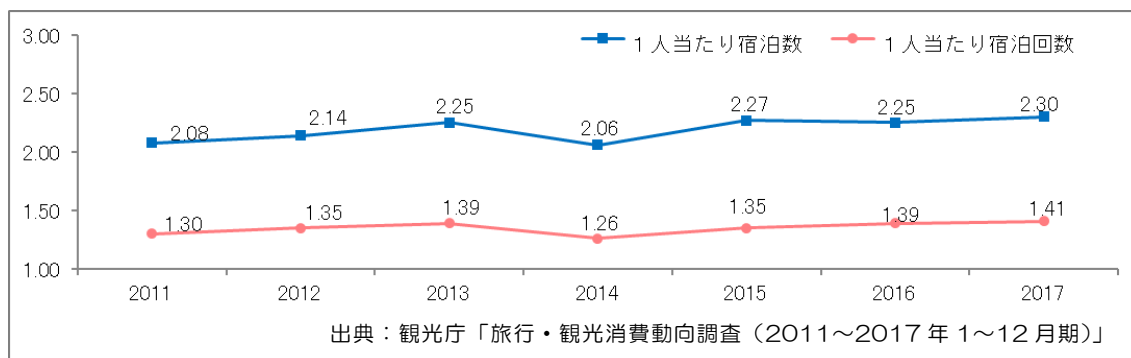
1 全国の観光の状況

国民の国内宿泊観光旅行の推移をみると、日本人の国民1人当たりの国内宿泊旅行の回数、宿泊数ともに、2014年（平成26年）は同年4月に消費税率引き上げの影響もあり落ち込みましたが、ここ数年は回復傾向にあります。

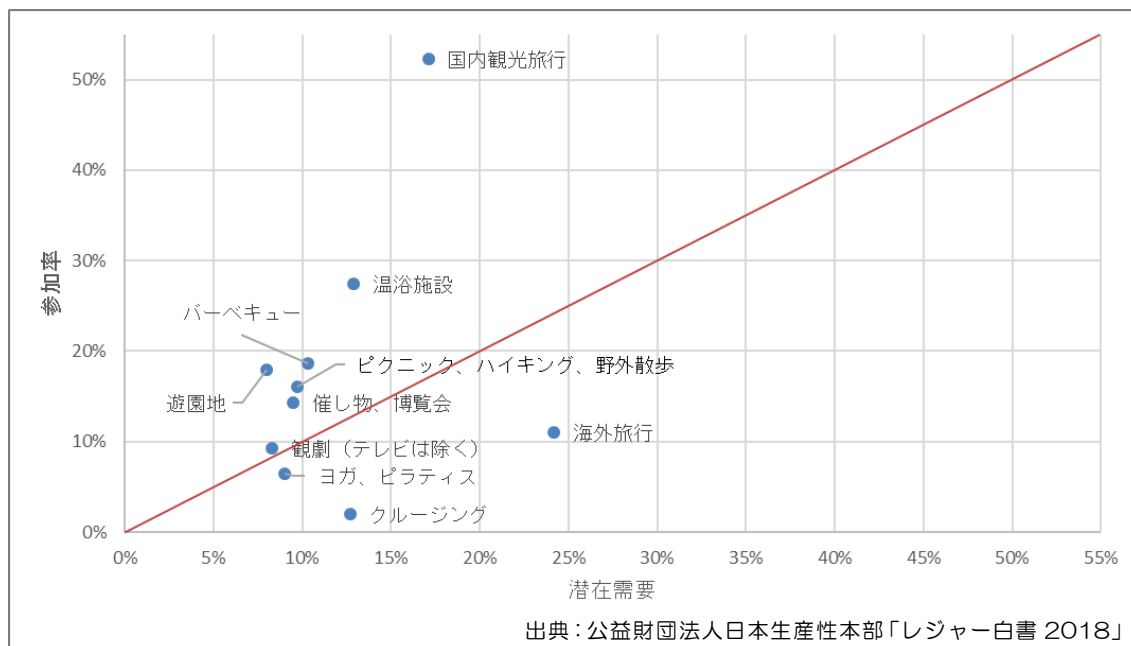
2017年（平成29年）においては、日本人の国民1人当たりの国内宿泊旅行の宿泊数は2.3泊であり、これは国が策定した「観光立国推進基本計画（平成29年3月28日閣議決定）」にある2020年（平成32年）までの年間平均宿泊数の目標値2.5泊に近づいています。

また、余暇活動の潜在需要（参加希望率から実際の参加率を引いた数値）は、第1位が「海外旅行」、第2位が「国内観光旅行」となっており、観光旅行に対する潜在需要は多様な余暇活動の中で依然として高いことがうかがえます。

《国内宿泊観光旅行の概況》

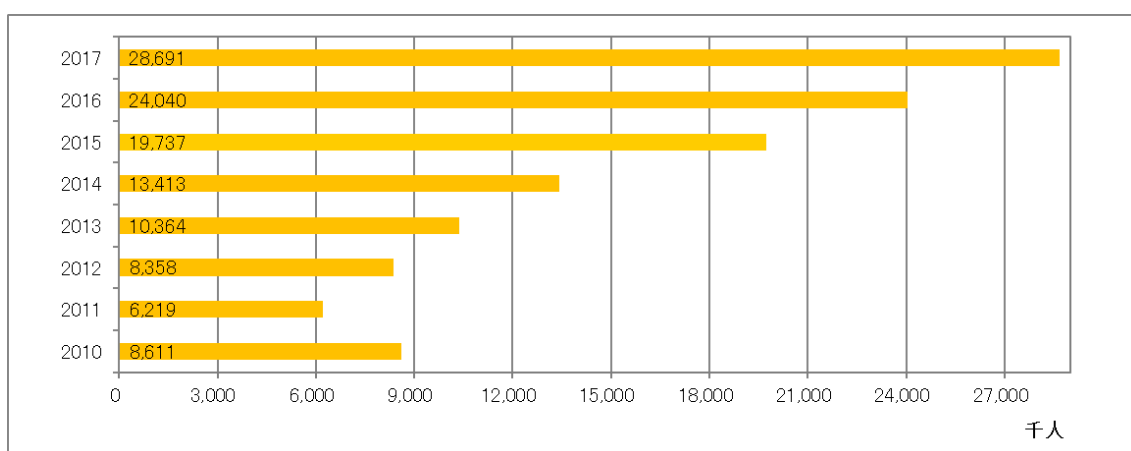


《余暇活動の潜在需要（上位10種目）》



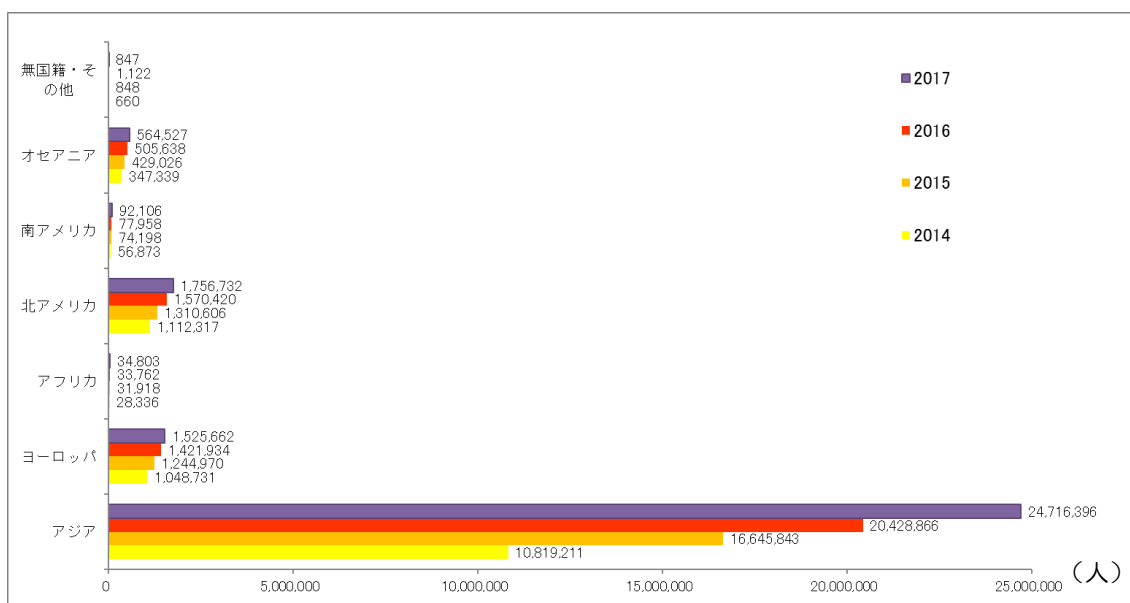
独立行政法人 国際観光振興機構（JNTO）の調査によると、訪日外国人旅行者数は、東日本大震災の影響による2011年（平成23年）を底にビザ発給要件の緩和などから増加傾向となり、2015年（平成27年）には日本人出国数を上回る1,974万人を記録しました。その後もさらに差を広げ、2017年（平成29年）の訪日外国人旅行者数は、過去最高の2,869万人（前年比19.4%増）を記録し、日本人出国数より、およそ1,000万人多い状況となりました。

《訪日外客数の推移》



出典：独立行政法人 国際観光振興機構（JNTO）「訪日外客数（2010～2017年）」

《地域別訪日旅行者数の推移》



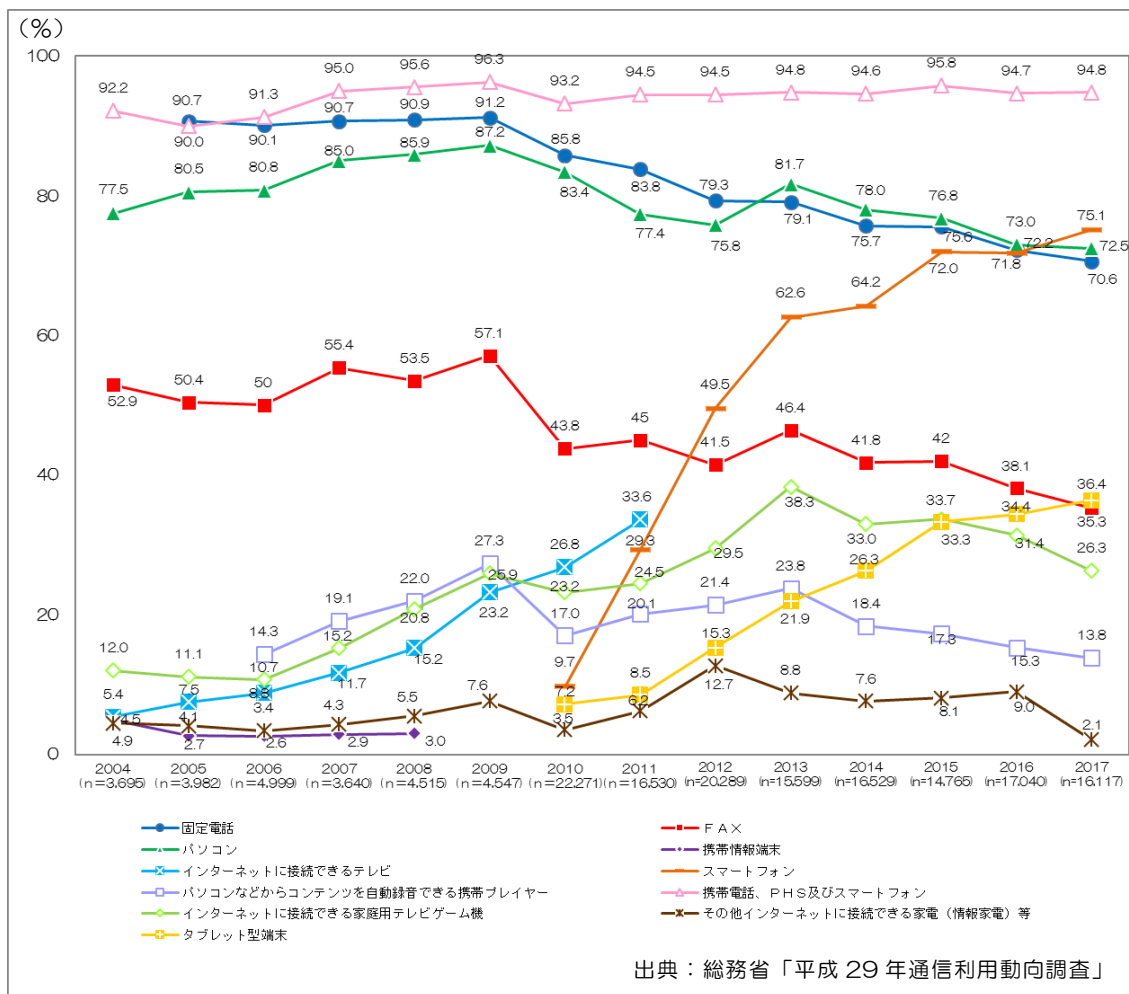
出典：独立行政法人 国際観光振興機構（JNTO）「訪日外客数（2014～2017年）」

訪日外国人旅行者数の増加の背景には、ビザ緩和や訪日外国人旅行者向け消費税免税制度の拡充などが要因となりますが、スマートフォンなどの小型モバイル端末の普及によって、移動しながらの情報収集が容易になったこと、また、SNSによるコミュニケーションツールの利用拡大など、観光に付随する食事や宿泊、交通等の情報伝達が容易になったことも、影響していると考えられます。

総務省が発表した「平成 29 年通信利用動向調査」によると、固定電話やFAX、パソコン等の固定情報ツールが減少する中、携帯電話やスマートフォン、タブレット型端末等に代表される小型モバイル端末の保有率が急増しています。

特にスマートフォンの普及は顕著で、2017 年（平成 29 年）にはパソコンの保有率（72.5%）を初めて上回っています。

《情報通信端末の世帯保有率の推移》

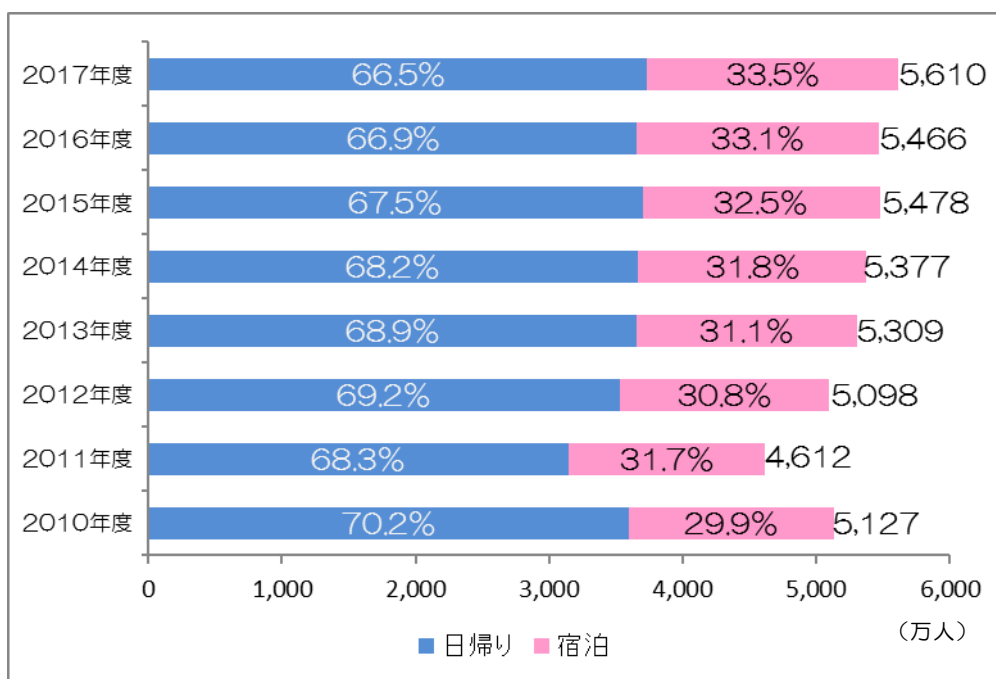


2 北海道の観光の状況

北海道の観光入込客数（実人数）は、東日本大震災の影響などにより2011年度（平成23年度）は大幅に減少したものの、2012年度（平成24年度）以降は堅調に推移し、2017年度（平成29年度）は過去最多の5,610万人となりました。

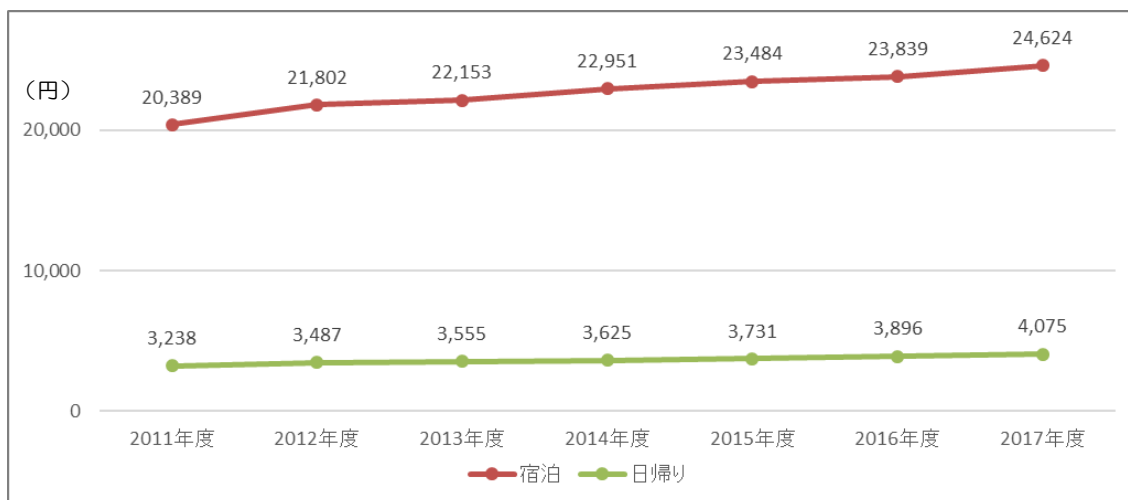
また、道民が北海道を旅行する際の消費額も上昇傾向にあり、日帰り・宿泊とも観光消費額単価が増加しています。

《北海道観光入込客数の推移》



出典：北海道経済部観光局「北海道観光入込客数（実人数）の推移（2010～2017年度）」

《北海道観光消費額単価》



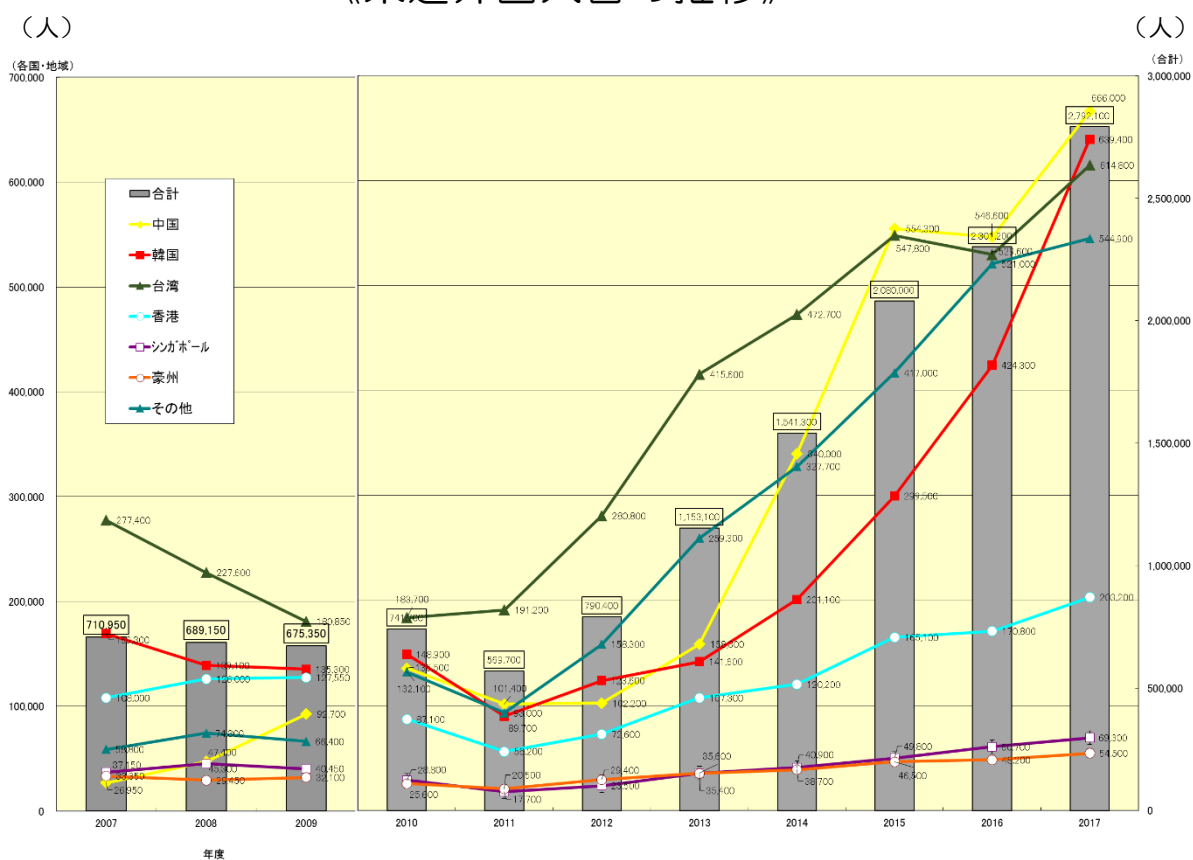
出典：独立行政法人 国際観光振興機構(JNTO)「全国観光入込客統計（2011～2017年度）」

1.都道府県別、観光入込客数（実）・観光消費額単価・観光消費額（日本人・観光目的）

2017年度（平成29年度）に北海道を訪れた外国人観光客は前年度に比べて21.3%増加し、過去最多の279万人となっており、国・地域別にみると、アジア圏の北海道人気が続いたことなどから韓国が前年度比50.7%増と大きく伸びたほか、大きな割合を占める中国（21.8%増）、台湾（16.1%増）も増加しました。

アジア圏は全体の88.7%であり、その内訳は中国(23.9%)、韓国(22.9%)、台湾(22.0%)、香港(7.3%)、タイ(5.7%)、マレーシア(4.4%)、シンガポール(2.5%)となっています。

《来道外国人客の推移》



出典：北海道経済部観光局「訪日外国人来道者数（実人数）の推移（2007～2017）」

第3節 北広島市の観光の現状と課題

1 北広島市の観光の現状

(1) 北広島市の観光の状況

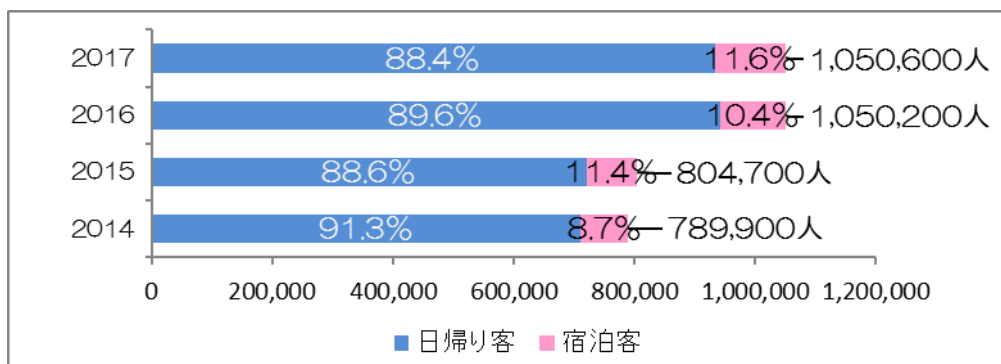
北海道観光入込客数調査によると、2017年度（平成29年度）に北広島市を訪れた観光客は105万1,000人となっています。

施設別にみるとゴルフ場が40万8,000人、宿泊施設が24万5,000人、パークゴルフ場が11万3,000人、その他の観光施設等が28万5,000人となっています。

また、日帰り客・宿泊客の割合をみると日帰り客が88.4%、宿泊客が11.6%となっており、日帰り客の割合が高くなっていますが、宿泊客の割合は2014年度（平成26年度）に比べ増加しています。

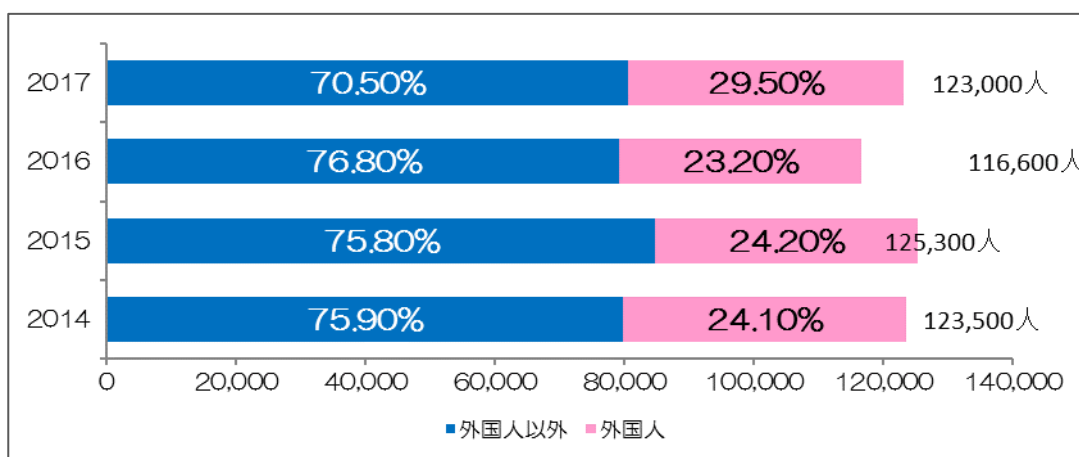
宿泊数の推移では延数はほぼ横ばいですが、外国人宿泊客の割合が増加しており、特に中国等アジア圏観光客の宿泊数が多くなっています。

《北広島市内の観光施設利用者の推移》



※2016年度（平成28年度）に調査客体を増やしています。

《北広島市内の宿泊数延数の推移》



出典：北海道経済部観光局「北海道観光入込客数調査（2014～2017）」

(2) 北広島市の観光振興における潜在力

本市は、大型商業施設と点在する観光資源を有機的な結び付けによって周遊させる都市型観光を推進するうえで、次のような潜在力（ポテンシャル）を有しています。

① 恵まれた交通環境

本市は、道央自動車道や国道 36 号、国道 274 号等の道路網が整備されており、また、鉄道は、JR千歳線で北広島駅から札幌駅まで快速で16分、新千歳空港まで20分と交通環境に恵まれています。

このことから、道央の主力観光地である札幌市、定山溪温泉、支笏洞爺国立公園、小樽市等からのアクセスがしやすいまちといえます。

このアクセスの良さは日帰り観光による交流人口の増加が期待できる有利な要因となっています。

② 自然体験資産

近年の観光は、個々人が目的を持った体験を通して、それぞれの地域の魅力を味わう「ふれる」「いやす」「まなぶ」といった「体験型」へと変化してきています。

本市には、特別天然記念物「野幌原始林」、大規模斜交層理（クロスラミナ）等の全国的にも誇れる自然遺産があります。また、市内各所のいちご農園には年間1万5,000人（2017年度（平成29年度））が訪れるなど各種農業体験資産が存在するほか、北広島レクリエーションの森やエルフィンロード等の自然を体感できる施設も存在します。

このように本市は、体験型の観光地として新たなニーズに対応できる可能性を持ちあわせています。

③ 地域に根ざした文化と歴史

本市には貴重な歴史的財産が数多く点在しており、観光のイメージづくりにはこのような歴史的財産を活用することも必要です。

特に、中山久蔵翁による寒地稲作発祥の地や国指定史跡「旧島松駅逕所」は貴重な財産となっています。

また、全国的にも有名なクラーク博士が札幌農学校の学生達と別れる際に“Boys, be ambitious”という名言を残した地でもあり、その精神は、この地域の多様な市民活動を通して地域に根付いています。

このような歴史や文化は地域資源とし、十分、観光に活用できる可能性があります。

④多様な集客資源

本市にはゴルフ場が8か所あり、年間40万8,000人の方々に利用いただき、また、エルフィンロードでは、市内外からサイクリングはもとより、ウォーキングやランニングを楽しむために、多くの方で賑わっています。さらに、近年は、大曲地区に大型商業施設が次々に建設され、年間1,000万人を超える方が訪れています。

このような集客資源は、本市の強みであり、それぞれの観光資源を結びこつて、周遊につなげる都市型観光としての貴重な資源となりえます。

⑤国際化の進展に伴う対応力

東日本大震災の影響により外国人観光客が減少傾向になったものの、近年、アジア圏を中心とした観光客の増加により震災以前に戻りつつあります。

外国人観光客の訪日動機の調査では、1位が「食事」、2位が「ショッピング」、3位から5位がほぼ同率で「歴史的・伝統的景観、旧跡」「自然・四季・風景」「温泉」となっています(独立行政法人 国際観光振興機構(JNTO))。

このように、本市が持ちあわせている歴史・自然資源や集客資源は、今後とも増加することが見込まれる諸外国からの観光客のニーズに十分対応できる可能性を秘めています。

⑥集客イベント・行事

本市では、四季を通じて多彩なイベント・行事が開催されています。なかでも毎年開催される「ふるさと祭り」は多くの人で賑わっています。

また、国内のトッププレーヤーが出場するゴルフトーナメントやエルフィンロードを活用したマラソン大会等には市内外から多くの方が訪れています。

このようなイベント・行事は本市の知名度を高めるだけでなく、まちの魅力と結びつけていくことにより、更なる観光振興につなげていく大きな牽引力となることが期待されます。



輪厚川河川敷 コスモス畑

2 北広島市の観光振興の課題

多くの魅力や潜在力をいかに観光振興に結びつけていくかが、本市における大きなテーマと言えます。今後の観光の推進に向け、本市における課題を以下に整理します。

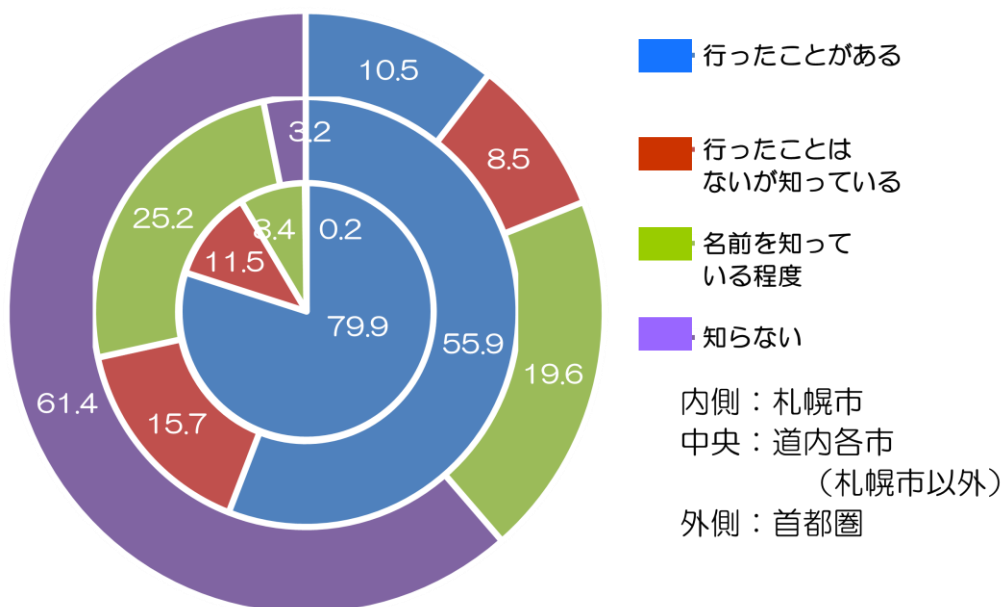
(1) 観光イメージのプロデュース

本市は、道内での認知度はあるものの、近隣の自治体と比べて観光イメージが弱く、観光先の選択肢にあがりにくくなっています。また、強みであるアクセスの良さは、逆に市内で周遊する観光に結びつかず、ショッピングやゴルフ等の単一目的で終わってしまう現状があります。

首都圏においては認知度が低く、北海道の他都市との観光における差別化を図ることは困難であると考えられ、北海道のポジティブイメージを活用しながら戦略的な観光振興が必要です。

そのため、多彩な魅力を有する観光都市として「行きたいまち」を連想させるイメージづくりが大切であり、新たなコンセプトによる一体的なプロデュースを行っていく事が必要です。

《北広島市の認知度》



出典：きたひろしまシティセールス事業アンケート調査（平成 22 年度、北広島市）

(2) 多彩に楽しむプログラムづくり

本市は大きくわけて5つの地区（東部地区・団地地区・大曲地区・西の里地区・西部地区）に分けられ、それぞれに特色ある多くの魅力や集客資源が存在します。

また、大型商業施設や、エルフィンロード、レクリエーションの森や国指定史跡「旧島松駅逦所」等、豊かな自然や歴史・文化等の魅力的な資源があります。この様な資源を活用し、ソフト（人や活動）とハード（集客施設や公共施設）を複合的に組み合わせた都市型の観光プログラムづくりに取り組み、多彩な楽しみ方が提供できる「まち巡り観光」の企画立案を行う必要があります。

(3) 都市型観光の推進力の構築

本市は、観光協会や商工会、各民間事業者等との連携によって観光・集客事業を実施してきました。しかし、今後は多くの魅力を有機的に結びつけ、点から面への観光施策を新たな観点で進めていく必要があります。

そのため、これまでの各種イベントを通じた連携以外に、日常的な観光事業者間での情報共有やネットワーク化が必要となります。今後の観光推進に向けて多様な主体の参画による都市型観光の一体的な推進を継続的に行える組織づくりを進め、観光振興の推進力を構築していくことが重要となります。

(4) 観光基盤の整備

本市においては、街中のサイン表示や外国語標記が少なく、観光案内施設が少ないなど、あらゆる観光客の円滑な移動に向けた観光基盤づくりが必要です。また、市民にとって分かりやすいまちづくりを進めるためにも、効率的・効果的に案内表示板等を設置することが必要です。



きたひろ魅力ベスト30
～自然の森キャンプ場～

第2章 基本理念

本計画は、「北広島市総合計画（第5次）」の基本目標4に掲げる「活気ある産業のまち」づくりの役割を担い、すすめていきます。

◆ 北広島市総合計画（第5次）のまちづくりテーマ ◆

～ 自然と創造の調和した豊かな都市 ～

【 めざす都市像 】

希望都市：子どもと若者がお年寄りとともに希望を育むまち

交流都市：市民が多様に活動し、産業と文化が栄えるまち

成長都市：緑を大切にし、着実に成長しつづけるまち

【 基本目標4 】

～ 活気ある産業のまち ～

活気ある農業・工業・商業などが営まれ、新たな産業が生まれ、
多くの人々にとって働く場があるまちをつくります。

【 基本計画 】

～ 第4章第5節 観光の振興 ～

○市民・企業・行政の連携により、観光資源の発掘や整備、活用を図るとともに、積極的に観光情報を発信するなどPR活動を推進します。

○多様な媒体を活用して効果的なプロモーションを展開し、市内外へのPRを積極的に実施します。

○「さっぽろ広域観光推進協議会」や近隣自治体、民間事業者などと連携して事業を展開します。

○市内さまざまな地域資源を活用し発信するシティセールスを展開し、交流人口や定住人口、企業等の増加を促進し、本市の活力向上を図ります。

◆ めざす姿 ◆

“にぎわいと魅力あるまち 北広島”

観光は、地域の強みである地域資源（自然・風土・歴史・文化・産業）の活用により成り立つものであり、地域経済活性化の起爆剤や牽引力となりうるものです。本市の多彩な魅力をさらに高め、活かし、結び、にぎわいと活気あふれるまちづくりに向けた『都市型観光』を推進します。

第3章 基本方針と基本施策

第1節 基本方針

基本理念に掲げた、めざすまちの姿“にぎわいと魅力あるまち 北広島”を実現するため、以下の基本方針を設定しました。

1 市民力を活かした観光推進力づくり

本市には市民や事業者・関係団体も含めた豊富な「市民力」が存在します。観光振興を進める上で、これらの「市民力」の積極的な観光振興への参画が必要不可欠であり、多くの観光客を招くためには、魅力あるまちづくりとともに魅力ある人づくりを進め、訪れる観光客の多様化・高度化するニーズに対応していかなければなりません。

そのため、行政はもとより市民・関係団体や事業者との適切な役割分担と協働を促進し、活動の枠を超えて観光事業を推進していく新たな仕組みを構築し、推進力を高めていきます。



きたひろ魅力ベスト30
～寒地稲作発祥の地～

2 観光資源の保全と有効活用

本市には、開拓されていない観光資源や十分に活用されていない観光資源が数多くあるといえます。

本市の歴史の中で息づいてきた観光資源の再発掘を行い「地域資源」としてブラッシュアップを図ることで新たな観光資源として市民や近隣の人たちにも広く知らせるとともに、観光資源同士による有機的な連携とネットワークを図り魅力のある観光地へと変化させていきます。



きたひろ魅力ベスト30
～国指定史跡 旧島松駅通所～

3 魅力ある観光基盤の構築

本市のアクセスの良さは大きな強みであり、この強みを活かし市外からの集客ができる取組を展開するうえで、訪れる人たちに本市の魅力とふれあうための基礎となる観光基盤が必要です。

目的地へ分かりやすく案内するための観光案内サインや案内板の整備、さらには、観光案内所やアンテナショップといった「おもてなし」の窓口などの整備をめざします。



きたひろ魅力ベスト30 ～街並み～

4 効果的な情報発信

魅力あるメニューや観光地等が存在しても、その情報が行きとどかなければ訪れる観光客を増やすことはできません。

また、旅行の少人数化や日帰り観光客の増加など旅行形態の変化に伴い、札幌に隣接していることに加え、アクセスが良い立地条件を生かし日帰り客をターゲットに、より多くの旅行者に本市を認知してもらえよう効果的なPRを行うことが大切です。

そのため、情報誌やインターネット、モバイル端末等を有効活用し、観光資源のPRを積極的に行い、紙面での告知やタイムリーに情報の伝達ができるメディアやインターネットの活用を推進します。



きたひろ魅力ベスト30

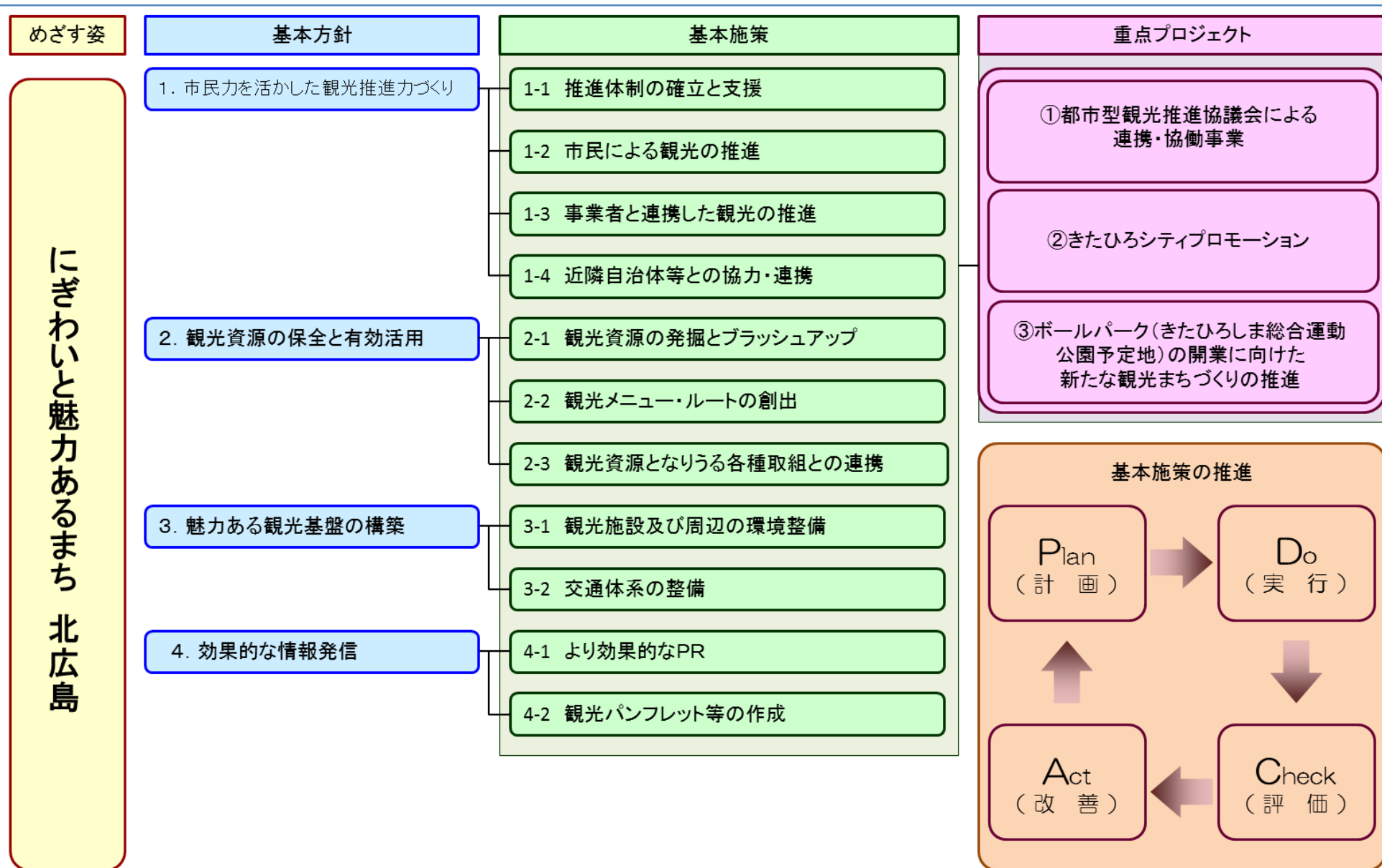
～温泉～



きたひろ魅力ベスト30

～安田侃 新生～

第2節 施策の体系



第3節 基本施策

「市民力を活かした観光推進力づくり」「観光資源の保全と有効活用」「魅力ある観光基盤の構築」「効果的な情報発信」の4つの基本方針実現のため、基本方針に基づいた基本施策を設定し、その実効性・実現性を図ります。

※ 以下の表における主体区分、記号内容は次のとおりです。

【主体】 市民：市民の皆さん
 民間：観光事業者、民間事業者、商工会
 行政：北広島市

【記号】 ●：主体となるもの
 ▲：連携するもの

1 市民力を活かした観光推進力づくり

1-1 推進体制の確立と支援

事業名	概要	主体		
		市民	民間	行政
観光協会の活性化	観光協会の観光振興に果たす役割を強化し、主催事業の見直しなども含め、活性化を図ります。		●	●
都市型観光推進体制の整備	観光推進の基盤となる、関係機関や団体等による有機的な連携とネットワークの構築をめざし、行政も含め推進体制を整備します。	▲	●	●

1-2 市民による観光の推進

事業名	概要	主体		
		市民	民間	行政
ガイド及びインストラクターとの連携	本市を訪れる観光客のみならず、市民に対しても観光資源の案内や様々な魅力を発信することができるガイドやインストラクター等との連携を図ります。	●	●	●

人を迎える意識の醸成	市民や企業、行政がそれぞれ観光の振興を進めるために、本市の魅力を再発見・再認識することで、郷土愛を醸成し「おもてなし」の心をもって、本市を訪れる観光客に接することができるよう市民への情報の提供に努めます。	●	●	●
------------	--	---	---	---

1-3 事業者と連携した観光の推進

事業名	概要	主体		
		市民	民間	行政
体験型観光の展開	参加者体験型観光に対するニーズが高まっていることから、様々なアクティビティ等の新たなメニューを企画・立案していきます。	●	●	●
市内の事業者等との連携による観光事業の企画と展開	市内で周遊できる観光事業の実施に向けて、商業施設等の事業者と行政が連携します。		●	▲
滞在型の観光事業の企画と展開	本市の魅力を活かし、家族単位や小グループで楽しむことのできる滞在型観光プログラムについて検討します。		●	▲



きたひろ魅力ベスト30

～札幌北広島クラッセホテル～



きたひろ魅力ベスト30 ～ゴルフ場～

1-4 近隣自治体等との協力・連携

事業名	概要	主体		
		市民	民間	行政
近隣自治体等との協力・連携	近隣自治体の魅力ある観光地と、本市の観光資源を結びつけ幅広い観光客の誘客の相乗効果を図るため、自治体や関連機関、団体との連携を検討していきます。		●	●
産学官連携による魅力づくり	産学官それぞれの強みを活かし、有機的な連携や協力により新たな魅力アップに努めます。	●	●	●



きたひろ魅力ベスト30～ホクレンくるるの杜～



きたひろ魅力ベスト30 ～輪厚川～



きたひろ魅力ベスト30 ～エルフィンロード～



～きたひろ まいピー～

2 観光資源の保全と有効活用

2-1 観光資源の発掘とブラッシュアップ

事業名	概 要	主体		
		市民	民間	行政
観光資源の掘り起こし	市民の視点では観光資源となり得ないものであっても、観光客の視点では魅力的な観光資源となりうる可能性があります。こういった新たな観光資源の掘り起こしを行い、観光事業への活用を進めていきます。	●	●	●
観光資源のブラッシュアップ	既に観光資源として活用されているものをブラッシュアップすることにより更に魅力のある観光資源として発信していきます。		●	●
土産物や食資産オリジナルグッズ等のPR	本市の土産物や食資産を積極的にPRするとともに、ゆるキャラ等を使用したオリジナルグッズ等を活用し、知名度アップを図ります。	▲	●	●

2-2 観光メニュー・ルートの創出

事業名	概 要	主体		
		市民	民間	行政
観光メニュー・まち巡り観光ルートの創出	多様化・高度化する観光客のニーズに対応するため、既存の観光資源同士や掘り起こされた新たな観光資源を有機的に結び付け、新たな観光メニューを提供するとともに、テーマやストーリー性を持たせた「まち巡り観光モデルルート」の創出に努めます。		●	●

2-3 観光資源となりうる各種取組との連携

事業名	概要	主体		
		市民	民間	行政
エコミュージアム構想との連携	エコミュージアム構想と連携し観光資源になりうる歴史や文化、地域資産の魅力発信に努めます。	●	▲	●
グリーンツーリズムとの連携	農業への理解促進や地域活性化、地域産業の振興、食育への関心向上等を通じて、観光客が地域の資産や魅力に触れることができるようグリーンツーリズムとの連携に努めます。	▲	●	●
スポーツ交流やイベントとの連携	本市を開催地としたスポーツイベントやコンベンション等と連携し、参加者を通して本市の知名度アップ、魅力の発信に努めます。	▲	●	●

3 魅力ある観光基盤の構築

3-1 観光施設及び周辺環境整備

事業名	概要	主体		
		市民	民間	行政
案内表示板等の計画的な整備	エコミュージアム構想と連動した史跡や観光地等への案内表示等の環境整備を行い、市民や観光客がまち巡りやサイクリング等を気軽に楽しめるよう利便性の向上に努めます。		●	●
観光案内所やアンテナショップの検討	観光客や市民の利便性向上をめざし、効果的・効率的な情報発信や物品販売等の拠点としての観光案内所やアンテナショップの設置について検討します。		●	●

3-2 交通体系の整備

事業名	概要	主体		
		市民	民間	行政
交通体系の充実	観光客や市民が、交通結節点から各方面へ移動できる市内アクセスの利便性を高めます。		●	●
サイクリングネットの充実	観光客や市民が自然を体感しながら市内アクセスの利便性を高めるため、エルフィンロードの延伸を促進します。	▲		●
市道の整備	市内幹線道路、生活道路を整備するとともに、市道の適切な維持管理、計画的な補修を進めます。			●

4 効果的な情報発信

4-1 より効果的なPR

事業名	概要	主体		
		市民	民間	行政
メディアの活用	新聞・ラジオ・テレビ・情報誌等のメディアを活用して効果的な情報発信に努めます。	▲	●	●
観光ホームページの充実	本市の観光情報サイト「きたひろ農学校」を有効に活用するため、観光協会、市、企業、市民等が連携し、リアルタイムな情報を発信する等サイトの充実を図ります。	▲	●	●



～北広島団地 広葉通～



～きたひろしま 30km ロードレース～

4-2 観光パンフレット等の作成

事業名	概要	主体		
		市民	民間	行政
観光パンフレットの充実	本市の観光地としての魅力を老若男女にわかりやすく、的確に伝えることができるようパンフレット内容の充実を図り、本市のイメージアップに繋がります。	▲	●	●
外国人向け観光ガイドマップの充実	アジアをはじめとした外国人観光客の増加に対応したパンフレットの作成とそれを活用した情報発信に努めます。	▲	●	●



きたひろ魅カベスト30 ~いちご狩り~

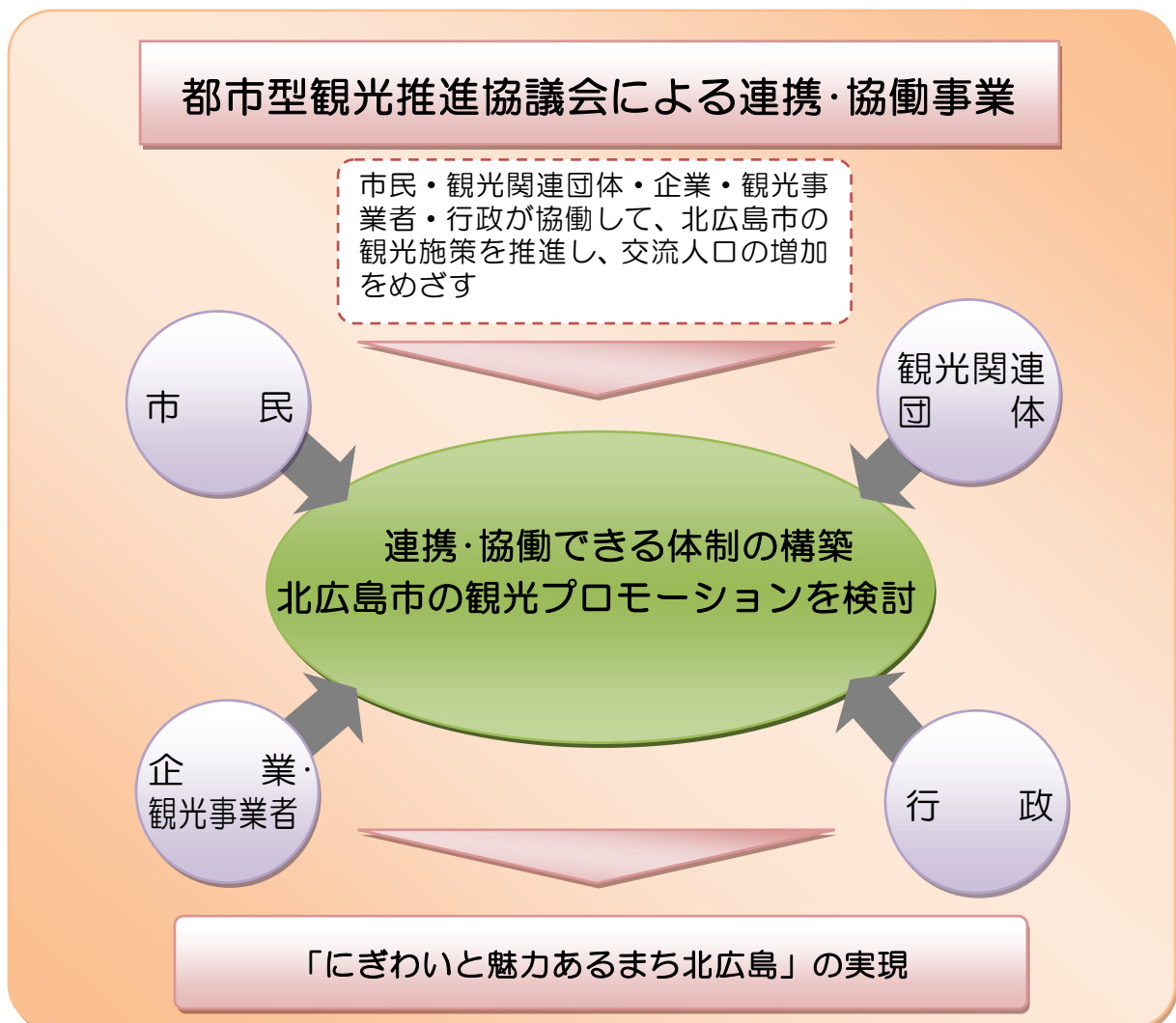
第4章 重点プロジェクト

観光振興を推進するにあたり、基本方針に基づき基本施策に掲げる施策を推進していきますが、その中でも特に重点的に取り組むべき施策について「重点プロジェクト」を設定し、推進していきます。

1 都市型観光推進協議会による連携・協働事業

基本施策に掲げる施策を総合的かつ計画的に推進するため、市民・観光関連団体・企業・観光事業者・行政が連携・協働できる体制として、観光推進協議会を設置します。

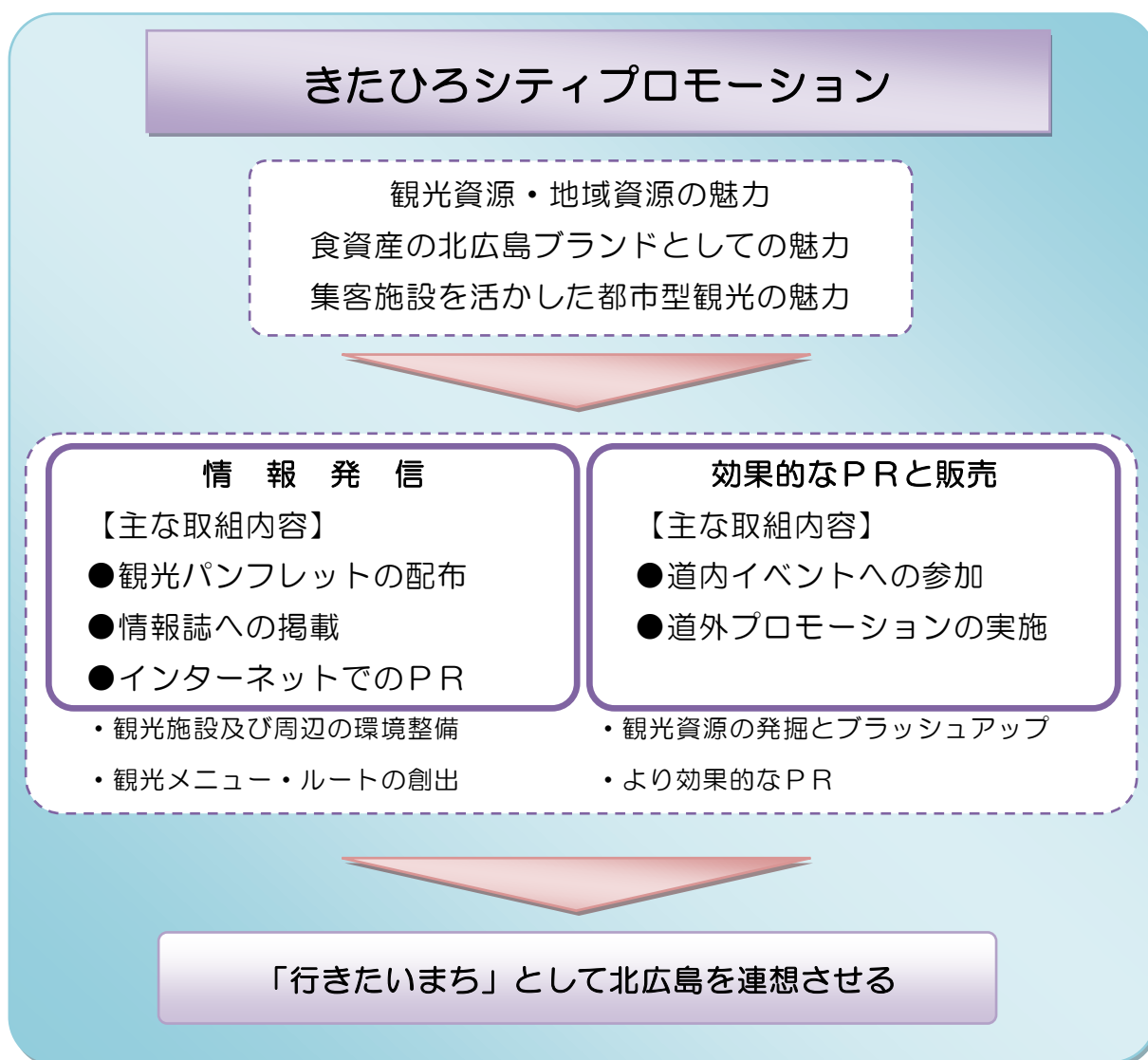
観光推進協議会では、構成団体間で連携・協働できる事業のほか、効果的なプロモーション手法などの意見交換や協議を行い、基本施策に掲げる施策を効果的に展開し、本市の地域資源・観光資源の認知度を一層高めるとともに、多様化・高度化する観光客のニーズに対応していきます。



2 きたひろシティプロモーション

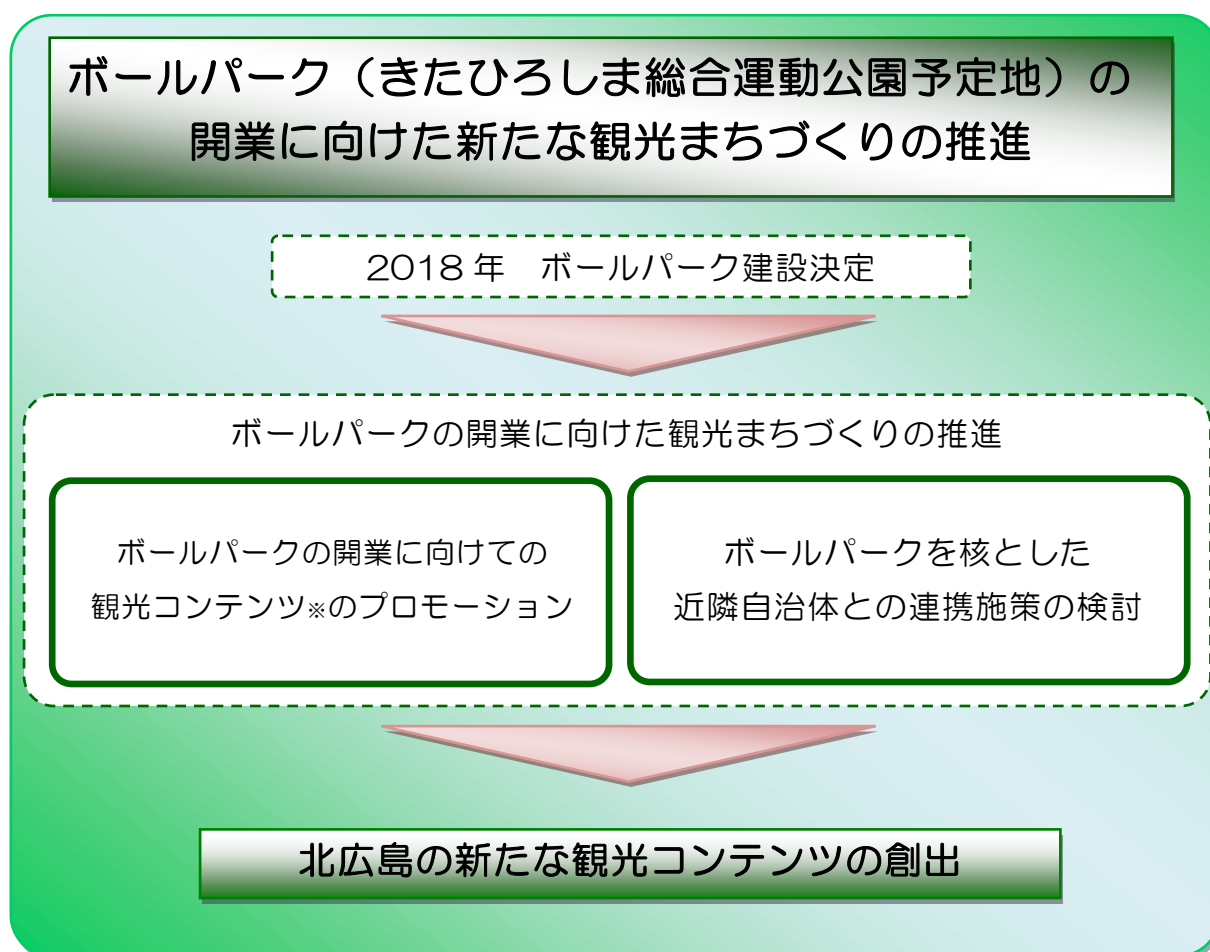
インターネットの普及は、不特定多数の方々に情報を瞬時に発信できるようになりました。これらは、旅行会社に行かなくても各地の情報を旅行者が収集できるようになったことから普遍的な情報に併せ、旬の情報や手作りの店や週末のみ開店する店、こだわりの店等市内のあらゆる情報を発信することにより、観光客の誘客を図ります。

あわせて、情報誌への情報掲載やイベントでの出展など、旅行者が多く集まるところや観光ルートを提案し、立ち寄れるような情報提供の充実を図ります。



3 ボールパーク（きたひろしま総合運動公園予定地）の開業に向けた新たな観光まちづくりの推進

本市において、北海道のランドマークとして期待されるボールパークがきたひろしま総合運動公園予定地に整備されることにより、全国的に知名度が高まり、都市イメージの向上に結びつきます。特に新球場については、本市の新たな観光コンテンツとなり、まちの地域ブランドとしての価値の向上や観光振興の推進力として大きく寄与することが期待されることから、ボールパークの開業に向けた新たな観光まちづくりの推進により、“にぎわいと魅力あるまち”を目指します。



※スポーツ、アクティビティなどの観光資源

第5章 推進の体制

本市における観光施策の実施においては、その担い手となる市民、観光事業者、民間・団体、行政が地元の観光資源の魅力を再認識し、それぞれの役割を明確にして各主体間で連携や協働を図りながら取組を進めていく必要があります。

1 市民の役割

市民は、観光のまちづくりにおいて最も基礎となる担い手の役割を果たします。

観光に「いやし」などを求める今日では、交流人口を増やす上でもっとも大切なことは、そのまちの住民が地域の自然や歴史、生活文化を誇りに思い、愛着と魅力を感じながら、楽しく暮らすことと言っても過言ではありません。そのまちの住民が楽しく暮らしているからこそ、他の地域の人々が惹きつけられると言えます。

市民は、まちづくりの担い手であるという当事者意識を持ち、それぞれの立場に応じて取組を企画し、さまざまな人や組織と協力しあって実施していくことが必要です。また、行政や観光事業者等がサポートすることで、活動の継続性やレベルの向上が図られます。



きたひろ魅力ベスト30
～レクリエーションの森～

2 観光関連団体の役割

観光のニーズが多様化・高度化する中、観光協会が果たす役割は大変重要です。したがって観光協会は、組織の活性化を進めるとともに市民や民間事業者、市等と緊密な連携を取りながら、市の観光振興の中心となる役割を担い、本計画を推進することが求められます。

また、商工会、農業協同組合等の、観光関連団体も観光振興による地域経済・産業の活性化を図るため、観光と各産業との結びつきを強め、生産者と民間事業者をけん引するリーダーとなって支援を行うことが求められます。



～ふるさと祭り～

3 企業・観光事業者の役割

交通、飲食、宿泊、お土産等、訪れた人と接する機会が多く、その対応が北広島市の魅力度に大きく影響してきます。

そのためにも、「おもてなしの心」も持ち、接客できる人材育成や、新商品開発などの取組が必要となります。



きたひろ魅力ベスト30
～お気に入りの店～



きたひろ魅力ベスト30
～三井アウトレットパーク札幌北広島～

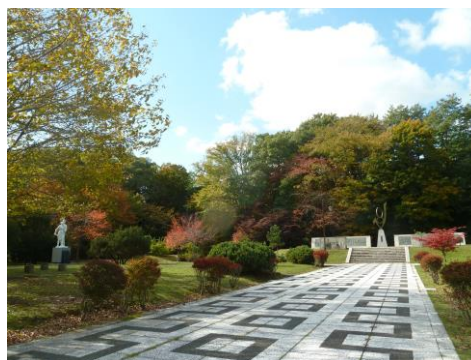
4 行政の役割

市が担う役割は、総合計画（第5次）やこれに基づく各種計画を踏まえ、市全体における観光振興の方向性の舵取りや、事業の実施にかかる関係機関との調整、事業立ち上げ時の牽引役、施設などの環境整備、財政的支援等です。

したがって、事業の実施にあたっては、市は基本的にアドバイザー、サポーターといった側面的支援の役割を果たします。



きたひろ魅力ベスト30
～北広島市芸術文化ホール・図書館～



きたひろ魅力ベスト30
～公園～

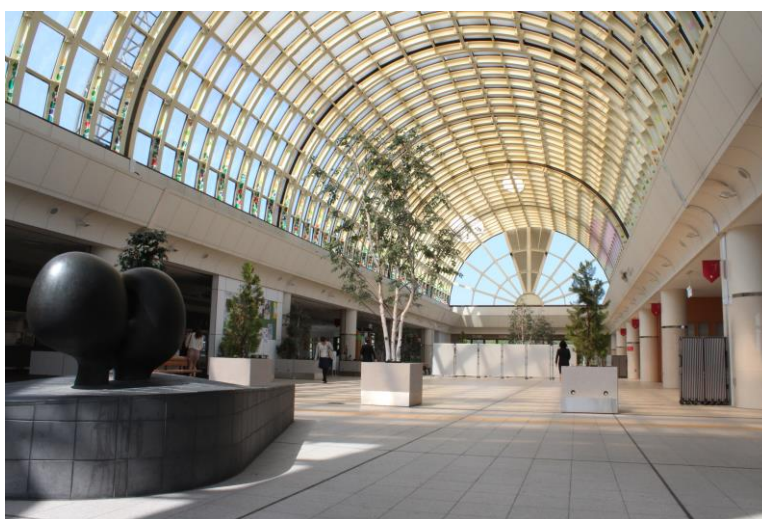
参考資料

1 策定の経過

日付	内容
2012年（平成24年）12月17日	第1回 計画策定戦略検討委員会 （仮）北広島市観光基本計画（案）概要説明
12月26日	北広島市観光基本計画庁内会議
2013年（平成25年）2月14日	第2回 計画策定戦略検討委員会 （仮）北広島市観光基本計画（案）検討
3月13日	北広島市庁議において計画案を審議
3月15日 ～ 4月15日	パブリックコメント
2014年（平成26年）3月14日	北広島市庁議において計画案を審議



きたひろ魅力カベスト30
～W.S.クラーク博士～



きたひろ魅力カベスト30

～エルフィンパーク～

2 計画策定戦略委員会 委員名簿

	氏 名	選 出	所 属
1	若 林 宏 保	ベンチャー系	電通中部支社
2	小 松 直 之	媒 体 関 係	前)札幌テレビ放送
3	上 原 康 雄	商 工 業 関 係	北広島商工会、北広島市観光協会
4	澤 田 美 恵 子	商 工 業 関 係	北広島商工会
5	豊 嶋 俊 二	観 光 関 係	札幌国際CC島松コース
6	穴 田 廣 光	生 産 者 関 係	道央農業協同組合
7	相 馬 展 之	流 通 関 係	三井アウトレットパーク札幌北広島
8	三 浦 麻 衣	宿 泊 関 係	札幌北広島クラッセホテル



～寒地稲作発祥の地碑～

3 見直しの経過

日付	内 容
2018年（平成30年）12月21日	第1回 観光基本計画懇話会 北広島市観光基本計画改訂案概要説明
2019年（平成31年）1月10日	第2回 観光基本計画懇話会 北広島市観光基本計画改訂案説明
1月23日	北広島市庁議において改訂案を審議
2月 1日 ～ 3月 2日	パブリックコメント
3月18日	北広島市庁議において改訂案を審議

4 観光基本計画懇話会 構成員名簿

	氏 名	選 出	所 属
1	山 田 久 俊	商工及び観光	北広島市観光協会
2	早 田 顕 輔	ゴ ル フ 場	札幌リージェントゴルフ倶楽部
3	三 上 太 一	大型商業施設	三井アウトレットパーク札幌北広島
4	木 田 勝 彦	宿 泊 関 係	札幌北広島クラッセホテル
5	遠 藤 正	学 識 経 験 者	札幌国際大学
6	山 口 規 子	市 民 公 募	
7	善 甫 啓 太	商工及び観光	株式会社フジドリームエアラインズ

北広島市観光基本計画

北 広 島 市

〒061-1192 北海道北広島市中央4丁目2番地1
TEL.011-372-3311 / FAX.011-372-0888

北広島市公式ホームページ

<http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/>

北広島市観光ホームページ

<http://www.cs.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/sightseeing/>